

任意合併協議会への参加を表明

「合併の枠組みは富岡甘楽広域圏」

町は、3月29日に開催された富岡甘楽広域任意合併協議会設立準備会（会長・今井清二郎富岡市長）において、任意合併協議会に参加することを表明しました。

これは、合併問題懇談会、アンケート調査結果および議会の意向などを十分踏まえ、富岡甘楽広域圏（甘楽町、富岡市、妙義町、下仁田町および南牧村）の枠組みによる任意合併協議会への参加を決定したものです。

■取り組みの経緯

町では、昨年11月25日に議決体関係者との懇談会を、本年1月27日からは秋津、小幡、福徳および新屋敷地区で合併問題懇談会を開催しました。また、2月21日から3月8日まで全町民を対象に合併問題に関するアンケート調査を行いました。アンケート集計結果は、広域圏からの申し入れ段階、1月一回の「任意合併協議会」

合併特別法の期限（平成27年3月31日）までには合併する、合併特別法の期限に達しない場合は併合するとの考えが大半を占めており、また合併の枠組みとして新屋敷広域圏が66.1%（1千590世帯）と半数以上を占めるなど、富岡甘楽広域圏の枠組みによる合併希望の回答が多くなる傾向が見られました。

■任意合併協議会設立に向け

広域圏の構成市町村は、任意合併協議会設立準備会（11月29日設置）にて、富岡甘楽広域圏の枠組みに関する合併問題懇談会等について

で協議を行ってまいりますが、4月中に開催予定の準備会が構成市町村の意向確認を行うこととして進められています。

■任意合併協議会

合併協議会は、合併を行うことができる市町村が、合併するかどうかの意思を表明して、合併のための議案を作成し決定していただくための協議会です。合併協議会へメールや手紙などで、任意合併協議会への参加を表明する場合は、既に新市町村建設費の作成や合併の方式などについて話し合っている市町村と、任意合併協議会へ参加の意向を表明する必要があります。

任意合併協議会とは任意の仕組みで、一般的には法定協議会の段階的な役割を果たす組織として設けられるものです。一方、法定の合併協議会は法律上の協議会であり、



合併のことば
確認できる
ことが大切です

互恵よく
協賛できる
案をつくって
ほしいなあ

学校の境が
誤解の元
となる

合併の
特色を
よく知って
ほしいなあ

富岡市はかつては現約や合併のことも、合併協議会の議決が必要となります。合併協議会の議決は、合併の前提条件が明確になり、合併後の問題も明らかにあります。このような議論を促すために、町民の意向を十分に把握し、合併の推進材料となります。